



ゼロ災への挑戦!!

news ANZEN



Kaiho. anzen

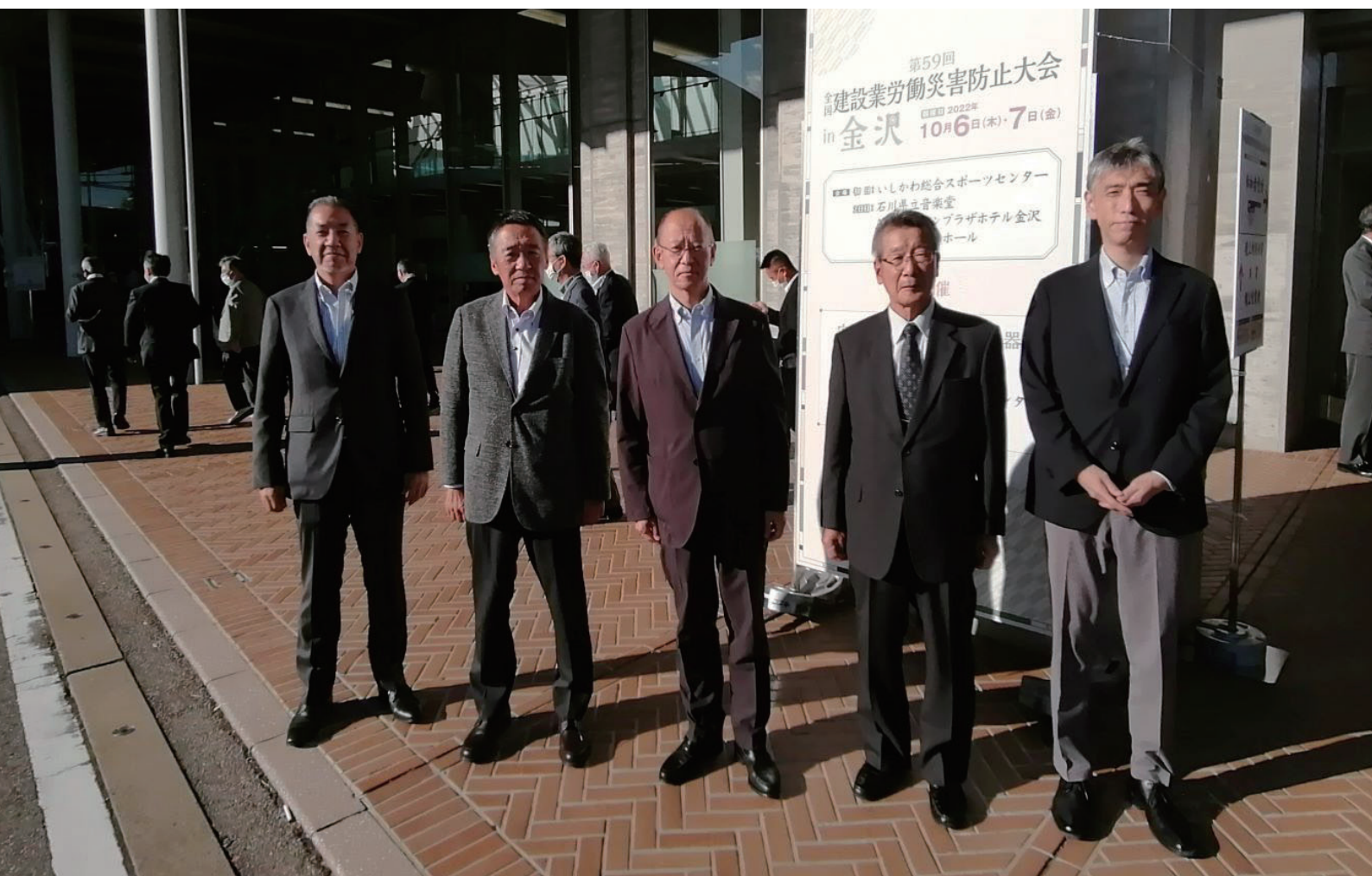
発行:大日本土木安全協力会
東京都新宿区西新宿6-16-6
☎(03)5326-3772(直通)

令和4年10月

No.138

高めよう 一人ひとりの安全意識
みんなで目指そう リスクの低減

< 2022 全国建設業労働災害防止大会 大会スローガン >



2022 全国建設業労働災害防止大会

大日本土木(株)・大日本土木安全協力会

第47回 定時総会報告



本部役員・支部理事代表



名誉会長
櫻井 俊介



本部長
佐々木 邦衛

1. 第47回 定時総会開催

日時：2022年7月8日（金）15：00～16：00

会場：シェラトン都ホテル大阪～金剛の間～

2. 開会の辞

山川副会長（大阪支部長）の開会の言葉

3. 佐々木会長挨拶

“ご安全に”

只今、ご紹介を頂きました、本部の佐々木でございます。

第47回安全協力会「定時総会」に当たり、簡単に一言ご挨拶をさせていただきます。

二年間コロナ禍ということで対面での本部定時総会が叶わず、今年度やっと対面会議が叶うということで、本部理事の皆様、また、各支部理事代表の皆様には、大変お忙しい中、遠路大阪の当会場に、ご参集を頂きまして、誠に有難うございます。ご苦労様です。

会社からは、公務ご多忙のところ、代表取締役専務執行役員 櫻井名誉会長様をはじめ、また、本部・各支部の事務局の方々のご出席ご参加を頂き、総会が開催できますこと、厚く御礼を申し上げます。

各支部役員の方々には、日頃から安全協力会の事業運営と、労働災害防止活動に格別なるご支援と、ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして、厚く御礼と敬意を表する次第でございます。

今年度はコロナ禍の中、二年ぶりにやっと、各支部の総会が、名古屋支部6月10日、大阪支部6月16日、東京支部6月17日、それぞれに無事終了ということで、本日の定時総会を迎えることができました。誠にありがとうございます。後ほど議案のご審議を頂きますので、何かございましたら、ご意見を賜りますので、ご発言のほど宜しくお願い申し上げます。

ご存知の通り、昨年度は各支部それぞれに事故・災害が発生し、後ほど名誉会長様からお話を頂けるかと思いますが、海外の1件を除き、大半が不休災害とはいえないへん多く発生をし、残念な結果となっています。この事実を、皆さんとしっかり受け止めて今年度の「全国安全週間」のスローガンであります、「安全は、急がず・焦らず・怠らず」を忠実に守ることは勿論ですが、会社の安全・衛生スローガンであります、「なくそう災害・全員参加の先取り安全」と「自分と仲間の健康状態に関心を持ち快適職場にしよう」を、今一度再確認して、今後はよい成績が挙げられますよう、本部理事、皆様の各支部に対する活動のご支援とご指導の程を宜しくお願い申し上げます。

最後となりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄と、安全協力会会員各社のご隆盛と、本日ご参加の皆様方、ご健康とご多幸をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



佐々木会長

4. 櫻井名誉会長挨拶

“ご安全に”

平素より当社の作業所安全衛生管理活動について、ご協力とご支援を賜り、また安全協力会の活動におきましても格別のご尽力を頂いておりますことに篤く御礼申し上げます。

まず本日の定時総会が、無事に開催されましたこと誠におめでとうございます。

過去2年間に渡る新型コロナウイルス感染防止対策により本総会が対面での開催が自粛されてきました。今回多くの安全衛生管理活動が以前のように再開されていることは、継続が重要な安全



櫻井名誉会長

管理には、大変有効なことと思います。しかしながら、新型コロナウイルスの感染防止をはじめ、熱中症にも対策を続けなければなりません。皆様のご協力を宜しくお願いいたします。

現在の我々建設業を取り巻く市場環境は、建設資機材の価格高騰と物流や納品スケジュールなど著しく不安定な状況もあって、先の見えづらい落ち着いた状況にあります。また、世界情勢においてもウクライナでの戦乱で不安定な状況が発生して、今後のエネルギー調達に大きな不安が予見されます。

先般、米国のバイデン大統領と日本政府との日米共同記者会見の会場に、掛け軸がかけられてあり、そこに「千里同風」とありました。その意味は、遠く離れていても同じ風が吹くという、世の中がよく治まっていて平和であること、とのこと。わたし達の安全管理活動においても「千里同風」な状況となることを期待しています。

本日は、定時総会が無事に開催されましたこと、誠におめでとうございます。

“ご安全に”

5. 議長選出

事務局より本総会は総数 29 名のうち出席者 27 名、委任状 2 名と報告され、総会の成立宣言がされた。続いて佐々木会長に議長を務めていただくことが満場一致で承認され、議案の審議に入った。

6. 議案の承認

- (1) 第 1 号議案「2021 年度本部事業報告並びに収支決算承認の件」「監査報告」を一括上程し、事務局報告の後、柴崎監事より監査報告がなされ、満場一致で可決承認された。
- (2) 第 2 号議案「労災総合保険等契約承認の件」
事務局長より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。
- (3) 第 3 号議案「2022 年度本部事業計画並びに収支予算（案）承認の件」
事務局より内容説明があり、原案通り、満場一致で可決承認された。

7. 閉会の辞

森屋副会長（名古屋支部長）の閉会の言葉により本総会を滞りなく終了した。



副会長
藤澤 徹



副会長
森屋 泰則



副会長
山川 数也

議案説明資料：第1号議案～第3号議案

月 別 実施事業		2021年					
		4	5	6	7	8	9
安全祈願							
諸会議	本部理事会		5/28本部理事会（本社・岐阜本店・大阪支店よりTV会議） ・支部定時総会を書面決議に決定 ・本部定時総会をリモート開催に決定 ・本部定時総会の議案内容を承認				
	第46回定時総会				7/9本部定時総会（東京支店・岐阜本店・大阪支店よりTV会議） 以下の議案を審議し承認された ・2020年度事業報告、収支決算承認、監査報告 ・労災総合保険等契約 ・2021年度事業計画(案)並びに収支予算(案) ・本部役員改選		
	会計監査		5/11本部会計監査 （東京本社会議室） 横内監事、柴崎監事				
	支部長会		5/13 第1回支部長会 （本社・岐阜本店・大阪支店よりTV会議）				
安全協力会本部パトロール						9/17 大阪支部 ・地整六甲下部（土木） 櫻井名誉会長・岡山本部事務局・廣瀬支部事務局・羽田野工事部長	
建設業労働災害防止協会諸行事への参加							
機関誌「あんぜん」の発行		135号発行					
各支部定時総会 安全衛生大会				6/11 名古屋支部総会（書面決議） 6/21 大阪支部総会（書面決議） 6/29 東京支部総会（書面決議） ・各支部総会は書面決議で実施し、すべての議案が承認された ・安全表彰は本社支社会議室で、出席者を限定し代表者の表彰を実施した			
その他			熱中症対策ウォッチ「カナリア」配布 ・3支部各10個配布し、試行後、アンケート調査実施				

2021年度 事業報告

自：2021年 4月 1日

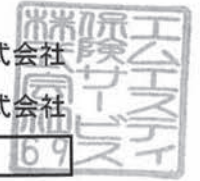
至：2022年 3月31日

2021年			2022年			備 考
10	11	12	1	2	3	
			1/14東京支部 (明治神宮) 1/15名古屋支部(猿田彦神社) 1/20大阪支部 (大神神社) 1/25本部 (明治神宮)			「合同安全祈願・研修会」はまん延防止等重点措置期間により中止
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部理事(副支部長、本部支部事務局長)、本部監事、本部事務局参加
						名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部理事(副支部長、本部支部事務局長)、本部監事、支部理事代表、本部事務局参加
						名誉会長、会長、本部監事、本部事務局長参加
10/7 第2回支部長会 (全国建設業労働災害防止大会にて実施)		12/9 第3回支部長会 (東京本社会議室)			「第4回支部長会」はまん延防止等重点措置期間により中止	計3回実施 名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部支部事務局長、必要に応じて本部監事参加
	11/11 名古屋支部 ・岐阜庁舎議会議棟(建築) 櫻井名誉会長・森屋支部長 岡山本部事務局・山口支部事務局・辰巳工事部長			3/11 東京支部 ・地整五霞下部(土木) 櫻井名誉会長・藤澤副会長・岡山本部事務局・亀井支部事務局・渡邊統括所長		各支部1回(全4作業所) 名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部支部事務局長参加
10/7 第58回全国建設業労働災害防止大会(京都)						名誉会長、会長、副会長(支部長)、本部支部事務局長参加
136号発行						年2回発行 定時総会、支部総会、支社支店受付等で配布
						支部総会(書面決議)の実施結果は、機関誌「あんぜん」136号及び大日本土木俣ホームページを通じて安全協力会会員へ報告
	2021年度会社 交付金請求	12/9年末社長 挨拶(会長・ 支部長)	1/25新年社長 挨拶(会長・ 支部長)			

令和4年4月14日

大日本土木安全協力会 御中

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
代理店 エムエスティ保険サービス株式会社



損害保険お見積

【労災総合保険】

保険期間 令和4年7月14日～令和5年7月14日(1年間)

過去の損害率による割引 40%適用 *昨年度40%

単位(万円)		基本契約	通勤災害
		給付額	
	死亡	1,000万円	1,000万円
後遺傷害	1級	750万円	750万円
	2級	750万円	750万円
	3級	750万円	750万円
	4級	300万円	300万円
	5級	250万円	250万円
	6級	200万円	200万円
	7級	150万円	150万円
	8級	50万円	50万円
	9級	40万円	40万円
	10級	30万円	30万円
	11級	20万円	20万円
	12級	10万円	10万円
	13級	10万円	10万円
	14級	10万円	10万円

年間保険料	分割保険料(3回払)
4,622,220円	1,540,740円

特約

- 通勤災害補償特約
- 災害付帯費用特約(基本型)
- 保険料精算特約(直近会計年度末用)B1
- 有期事業契約特約(包括契約用)B9

【団体総合生活補償保険】

保険期間 令和4年7月14日～令和5年7月14日(1年間)

補償区分 就業中のみ補償

準記名式 一部付保(下請工事従事者のうち、政府労災保険における特別加入者)

団体割引 5%

死亡・後遺障害	10,000千円
---------	----------

1名あたり保険料	5,100円
被保険者数	30名
人数分合計保険料	153,000円

*ご契約の内容の詳細につきましては、パンフレット、約款、重要事項説明書をご確認いただきますようお願いいたします。

2022年度 本部事業計画（案）

（自：2022年4月1日～至：2023年3月31日）

本会の安全衛生に係わる労働安全衛生法第29条・第30条及び第32条の主旨に基づき、会社と協力して作業所における労働災害防止に努めるとともに、労働災害に対する給付事業を行うため会員企業等を被保険者とした保険契約を締結し、また、会社と協力会社とのパートナーシップの強化を図り、施工品質確保に努め、会員企業の安定と従業員の福祉を目的として下記事業を行う。

＜実施予定事業＞

- 1) 支部が行う安全衛生大会開催の支援
 - ・名誉会長、会長、本部事務局長は支部安全衛生大会に参加
 - ・支部安全衛生大会に安全冊子等記念品の提供
 - ・支部総会の実施結果等を、機関誌「あんぜん」及び「大日本土木(株)ホームページ」を通じて安全協力会会員へ報告
- 2) 安全協力会本部パトロール 各支部1回
 - ・安全協力会各支部の作業所で安全衛生環境パトロールの実施
- 3) 本会を運営するために必要な会議体の実施
 - ・本部理事会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事が参加）
 - ・定時総会（名誉会長・会長・副会長・本部理事・本部監事・支部理事代表が参加）
 - ・中央協議会（安全協力会と会社において、協議を必要とした場合に随時開催）
 - ・支部長会 年4回（会長・支部長・本部支部事務局長が参加）
- 4) 安全表彰に関すること
 - ・無災害作業所における優秀職長の表彰
 - ・会社の募集する安全衛生・環境に関する論文、標語、ポスターの表彰に協賛
- 5) 労災補償に係わる保険管理業務
 - ・大日本土木(株)作業所における安全協力会会員の労災補償
- 6) 機関誌「あんぜん」の発行 年2回
- 7) 建設業労働災害防止協会等が実施する諸行事への参加
- 8) 会社と安全協力会の相互連携を保つための活動
 - ・合同安全祈願、決起大会を会社と共同開催
- 9) 社会の動向に併せた活動の実施
- 10) その他労働災害に防止に必要なこと
 - ・安全協力会各支部の安全活動を推進するための助成
 - ・労働災害防止、作業環境の整備・改善に関する調査研究

2022年度 事業計画 (案)

自：2022年 4月 1日
至：2023年 3月 31日

実施事業	月 別	2022年												2023年			備 考
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3				
安全祈願									○		○		○				<ul style="list-style-type: none"> 合同安全祈願、決起大会 (11/11～12 東京開催) 本部支部安全祈願 (1月)
本部理事会		○															<ul style="list-style-type: none"> 5/27 シェラトン都ホテル大阪
定時総会					○												<ul style="list-style-type: none"> 7/8 シェラトン都ホテル大阪
中央協議会																	<ul style="list-style-type: none"> 随時 (会社と協議が必要な場合)
会計監査			○														<ul style="list-style-type: none"> 5/13 DNC東京本社
支部長会議		○	○						○		○						<ul style="list-style-type: none"> 本部支部行事の事前打合せ等 5/13 (東京)、10月 (金沢)、12月 (東京)、3月 (名古屋)
安全協力会本部パトロール						○ 名古屋支部			○ 東京支部						○ 大阪支部		<ul style="list-style-type: none"> 各支部1回 名誉会長、会長、副会長 (支部長)、副支部長、本部支部事務局
建設業労働災害防止協会諸行事への参加									○								<ul style="list-style-type: none"> 全国建設業労働災害防止大会 (10/6～7 石川県金沢市)
機関誌「あんぜん」の発行	○								○								<ul style="list-style-type: none"> 年2回発行 (137号、138号)
各支部定時総会・安全衛生大会に参加				○													<ul style="list-style-type: none"> 6月 名古屋支部 (6/10) 大阪支部 (6/16) 東京支部 (6/17)
備 考																	

2022 年度 大日本土木安全協力会 本部・支部役員

本・支部	役職	会社名	役職	氏名
本部	名誉会長	大日本土木(株)	代表取締役 専務執行役員 建築本部長	櫻井 俊介
	本部長	児玉建設(株)	代表取締役	佐々木 邦衛
	本部監事	(株)横内工業	取締役 相談役	横内 眞
	本部監事	大日本土木(株)	執行役員 管理副本部長 兼 総務部長	柴崎 三文
	事務局長	大日本土木(株)	本社 環境安全品質部長	岡山 孝
東京支部	名誉支部長	大日本土木(株)	常務執行役員 東日本支社長 兼 東京支店長	小林 良一
	支部長	(株)森田組	代表取締役	藤澤 徹
	副支部長	成友興業(株)	取締役 副社長	萩森 孝紀
	副支部長	三生設備(株)	代表取締役 社長	細井 芳人
	理事	向井建設(株)	土木営業部長	神谷 肇
	理事	(有)明伸	代表取締役 社長	島田 明壽
	理事	児玉建設(株)	常務取締役	深津 三峰男
	理事	北稜建設(株)	代表取締役	小川 滋
	理事	真和建設(株)	代表取締役	明本 真吾
	理事	山崎建設(株)	執行役員 支店長	石井 隆之
	理事	(株)弘左官工業	代表取締役	平野 弘幸
	監事	(株)横内工業	取締役 社長	湯本 伸矢
	監事	大日本土木(株)	東日本支社 総務部長	清水 哲人
	事務局長	大日本土木(株)	東日本支社 環境安全品質部次長	廣瀬 淳司
名古屋支部	名誉支部長	大日本土木(株)	常務執行役員 中日本支社長 兼 岐阜本店長	田中 克幸
	支部長	(株)森屋製作所	代表取締役	森屋 泰則
	副支部長	(株)岡崎組	代表取締役	岡崎 弘志
	副支部長	(株)酒井田工務店	代表取締役	酒井田 雅一

本・支部	役職	会社名	役職	氏名
名古屋支部	理事	飯島鉄筋工業(株)	代表取締役	飯島 勉
	理事	(株)永山工務店	代表取締役 社長	永山 善一
	理事	横山工業(株)	代表取締役 副社長	横山 英司
	理事	(株)大菅工業	代表取締役	白木 毅仁
	理事	海津建設(株)	代表取締役 社長	近藤 正
	理事	(株)小澤塗工店	代表取締役	一宮 久朗
	理事	(株)横建	代表取締役	横山 浩之
	理事	(株) TATSUMI	代表取締役	後藤 諭
	監事	金神鋼業(株)	代表取締役 社長	金神 徹尚
	監事	大日本土木(株)	中日本支社 総務部長	森 文男
	事務局長	大日本土木(株)	中日本支社 環境安全品質部次長	山口 英也
	大阪支部	名誉支部長	大日本土木(株)	執行役員 西日本支社長 兼 大阪支店長
支部長		(株)山川	代表取締役 社長	山川 数也
副支部長		(株)浅田鉄筋	代表取締役	浅田 宜彦
副支部長		(株)村岡	代表取締役 会長	村岡 順次郎
理事		(株)木村商会大阪	代表取締役	谷 勝満
理事		(有)大野工業	代表取締役	大野 勇治
理事		(株)あさひ産業	専務取締役	西川 知文
理事		(株)フセナガセ	代表取締役 社長	青井 波憲
理事		(株)菅工務店	常務取締役	菅 吉弘
理事		(株)高岸	代表取締役 社長	高岸 典雄
監事		(株)ミズノ	代表取締役	水野 淳
監事		大日本土木(株)	西日本支社 総務部長	前田 茂浩
事務局長		大日本土木(株)	西日本支社 環境安全品質部次長	亀井 利勝

各支部総会開催 < 6 月 > (各支社安全衛生大会併催)

令和 4 年 6 月 10 日 (金) の名古屋支部総会を皮切りに、東京、大阪各支部総会が 2 年ぶりに対面開催されました。

櫻井名誉会長挨拶

“ご安全に”

平素より当社の作業所安全衛生管理活動について、ご協力とご支援を賜り、また安全協力会の活動におきましても格別のご尽力を頂いておりますことに篤く御礼申し上げます。

2022 年度の支部総会が 2 年ぶりに対面で開催できることは大変喜ばしく思います。

しかし、現在の作業所を取り巻く環境は、新型コロナウイルスの感染環境が完全に終息していない状況で、まだまだ感染に対する注意を継続することが必要な状況です。今後もしばらくは協力会の皆様と作業所の職員と共に感染防止に協力と対策を一緒になって進めることが必要です。

当社の前年度の安全成績は、海外作業所においてダンプトラック後退時の巻き込まれによる死亡事故が発生しましたが、国内ではそれ以前の年度に比べて事故発生件数は同程度であったものの、内容については少しずつですが、良い方向に向かっております。今後も協力会員の皆様とも一緒になって安全衛生管理活動の取り組みを継続して進めることが大切です。全国安全週間を前に、確り協力して進めてまいりましょう。

元請と協力会社が一体となって安全衛生管理活動の「死亡・重篤・公衆災害 ゼロ」を掲げ、重点項目である「墜落・転落災害、建設機械・クレーン災害、倒壊・崩壊災害、飛来落下災害」の防止を進めましょう。

皆様の積極的なアドバイスと活動の取組のご協力に期待いたします。

最後に、たくさんの協力会員の皆様が本日の支部総会へ御出席を頂きましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

“ご安全に”



名誉会長
大日本土木株式会社
代表取締役 専務執行役員 櫻井 俊介

佐々木会長挨拶

“ご安全に”

只今、ご紹介を頂きました安全協力会本部、会長の大役を仰せつかっております、

児玉建設の佐々木でございます。

高い所から大変僭越ではございますが、安全協力会支部総会と、支社安全衛生大会の開催に当たり、一言簡単にご挨拶をさせていただきます。

コロナ禍が少し下火になったということで、今年度は安全協力会支部の総会、並びに支社安全衛生大会が開催できるということで、お招きを頂きまして、



本部長
児玉建設株式会社 代表取締役 佐々木 邦衛

誠に有難うございます。この様に多数の会員の皆様のご参加の下、斯くも盛大に総会が開催されましたこと、また只今は総会の全ての議案が満場一致をもちまして、原案通り可決承認されましたことに、先ずもってお祝いとお慶びを申し上げます。

さて、支部会員の皆様には安全協力会、本部、並びに支部の事業運営と、労働災害防止活動に対し、日頃から、格別なる、ご支援とご協力を賜り、また、日々自主安全衛生管理全活動に努めておられますこと、この場をお借り致しまして、心から厚く、御礼と敬意を表する次第でございます。

おかげ様を持ちまして、昨年度の安全協力会、本部、各支部共に事業計画と運営が、コロナ禍ということで、それぞれに形、方法を替えたにせよ、全てをこなせたことに、重ねて御礼とご報告を申し上げます。

ご承知かと思いますが、海外を省く昨年度の全店的な安全成績は、擦り傷、切り傷といった軽微な災害とはいえ、件数では二十件に近く大変に残念な結果となってしまいました。この事実を皆さんとしっかり受け止め、反省し現場での約束事は確実に守り、お互いに注意し合い「ヒューマンエラー」といわれるものの撲滅を図るべく、何時何処でおきてしまうか分からない災害、つまり常に災害は「時なし、場所なし、予告なし」と言われることを、再度認識し合い、全員参加のもと、今年こそ立派な良い成績で行けます様に、安全協力会支部会員の皆様のご協力を切にお願い申し上げます。

ご承知の通り、今月は来月の「全国安全週間」の準備期間でございます。今年度の「全国安全週間」のスローガンは、皆さんご存知の通り「安全は、急がず・焦らず・怠らず」です。これらのスローガンの下、我々安全協力会会員は、法令順守は勿論のこと、職場のルールを守り、全員参加の下、危険を摘み取り、常に健康に留意し、労働災害は、絶対に未然に防ぐという信念の下、邁進しようではありませんか。支部会員の皆様のご協力により、今年こそは立派な成績が築けます様に、宜しくご協力の程、お願い申し上げます。

最近の世の中を考えると、皆様ご存知の通り、「ロシアとウクライナ」の戦争を始めとして、政治、経済共に大変に混迷を極めていますし、また地球規模で温暖化の影響でしょうか、あちこちで自然災害が生じていますし、国内でも同様に政治、経済の混迷や自然災害に悩まされているのが、現状かと思えます。

そんな中であって、我々の建設業界も多分に漏れず今後一層人手不足が深刻で、それに対応出来得るのか、厳しい状況が続くと考えられます。強いては外国人労働者や未熟練、未経験労働者に頼らざるを得ないことが、今後ますます予想されますが、それらにより、当然ながら今まで以上に事故、怪我に対する注意喚起が要求されます。支部会員の皆様には是非とも、実効性のある安全衛生管理に日頃から務めて頂き、事故防止にご精進の程、切にお願いを申し上げます。

如何な時も、如何なる環境にあっても、「安全第一」、労働災害は、絶対にあっても起こしてもいけないものです。安全協力会、本部、並びに支部共に力を合わせ、今まで以上に労働災害防止のための諸案に、役員一同取り組んで行く所存でございますので、今後とも、支部会員皆様のご協力ご支援を切にお願い申し上げます。

おしまいになりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄と、本日まで参加をいただきました支部会員各社のご隆盛と、皆様方のご健康とご活躍をご祈念申し上げ、また、日頃のご功績が認められ、本日、栄えある表彰を受けられ、この後受けられる方々に、心からお祝いを申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”

東京支部総会 令和4年6月17日（金） 開催

全電通労働会館

藤澤東京支部長挨拶

“ご安全に”

只今ご紹介を頂きました、安全協力会東京支部の支部長を仰せつかっております、森田組の藤澤でございます。

安全協力会東京支部、2022年度の総会の開催に当たり、高いところから大変僣越ではございますが、一言簡単にご挨拶をさせていただきます。

過日、本総会のご案内をさせていただきましたところ、会員の皆様には大変お忙しい中、また、梅雨時の蒸し暑い中にもかかわらず、このように大勢の方々にお集まりをいただき、当総会が盛大に開催できますこと、また、後ほどの議案のご審議を頂けますこと、厚く御礼を申し上げます。

また、御多忙中にも関わらず、会社から代表取締役専務執行役員 櫻井名誉会長様、当会本部より 佐々木会長、岡山本部事務局長のご臨席を賜り、誠にありがたく厚く御礼を申し上げます。

安全協力会東京支部会員の皆様方には、平素より支部の事業運営並びに、労働災害防止活動に、ご支援とご協力を賜り、この場をお借りして、厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、コロナ禍で活動を縮小した計画もありますが、令和3年度支部事業計画とその運営が、ほぼ滞りなく推進でき、本日の総会の運びとなりました。御礼とご報告を申し上げます。

東京支部における令和3年度の安全成績は、休業4日以上災害が1件、休業2日が1件、不休災害が2件と 前年度に比べ、休業災害が増加となっています。これらの災害に学び、今後の再発防止に努めて行かなければなりません。今年度に入りましてからは、不休災害が1件発生しています。

この総会を機に、まずは上期の無事故無災害、そして今年度、無事故無災害となりますように、会員皆様方のご協力とご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

今月は、7月1日から始まる「全国安全週間」の準備期間です。今年度の全国安全週間のスローガンは「安全は 急がず 焦らず 怠らず」で展開されます。建設業全体の労働災害は増加傾向にあり、さらに、死亡災害も令和3年は283名と増加に転じ、予断を許さない状況下ではあります。

私たち安全協力会は、全社安全スローガン「なくそう災害 全員参加の「先取り安全」！」及び、東日本支社の安全目標である「死亡・重篤・公衆災害ゼロ」を達成すべく、「墜落・転落災害ゼロ、建設機械関連災害ゼロ、倒壊・崩壊災害ゼロ、飛来・落下災害ゼロ」を再確認し、東京支部会員の皆様の、一層のご協力により、無事故無災害に向け、邁進しようではありませんか。宜しくお願い申し上げます。

建設業界においては、コロナ禍をめぐる状況や、ウクライナ情勢の下、原材料費等の高騰、



東京支部長（本部副会長）
株式会社森田組 代表取締役 藤澤 徹

人手不足による未熟練労働者の増加等、建設業を取り巻く環境は 厳しい状況にあります。こうした厳しく困難な状況下にあっても、私たちには、労働災害防止の一層の取り組みが求められています。

東京支部会員の皆様方には、是非とも実行性のある安全衛生管理活動に、日頃から取り組んで頂きますよう宜しくお願い申し上げます。

会社との共存共栄と、懇親を図るべく進めている「安全協力会」活動ですが、施工品質の確保、生産性向上の取り組みを加えた「パートナー会」と共に、安全衛生管理活動に加え、建設キャリアアップ、グリーンサイトの活用、現場における施工力の向上と、働き方改革に努めてまいりますので、会員各社の皆様の、ご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

如何なる時も、如何なる環境にあっても「安全第一」。労働災害は、絶対にあっても起こしてもいけないものです。安全協力会東京支部は今年度も役員による合同一斉パトロール、職長会の充実、特に「ヒューマンエラー」の撲滅に傾注し、労働災害防止に努めてまいります。

会員の皆様の、ご理解あるご支援ご協力を、宜しくお願い申し上げます。また、この総会と、第二部の「安全衛生大会」を、意義あるものとするために、今後、尚一層のご精進を合わせてお願い申し上げます。

最後になりましたが、大日本土木株式会社の益々のご繁栄、会員各社のご発展とご健勝を心から祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



表彰式



総会状況

名古屋支部総会 令和4年6月10日（金） 開催

じゅうろくプラザ

森屋名古屋支部長挨拶

“ご安全に”

只今、ご紹介を頂きました、安全協力会名古屋支部副支部長を仰せつかっております岡崎でございます。本日は、森屋支部長が体調を崩されたので、私が挨拶文を代読させていただきます。

高い所から僭越ではございますが、総会にあたり一言挨拶をさせていただきます。

先般、本日の総会のご案内を申し上げましたところ、会員の皆様におかれましては、大変ご多忙中、また新型コロナが完全に収束されていないなか、ご参加頂き、3年ぶりに開催出来ますことに厚く御礼申し上げます。

また本日、公務ご多忙のところ、会社より当会の名誉会長でもあります、櫻井代表取締役専務執行役員様をはじめ、田中常務執行役員中日本支社長様、幹部・職員の方々、安全協力会本部より、佐々木会長、岡山本部事務局長のご臨席を賜り、厚く御礼申し上げます。後ほど、櫻井名誉会長、佐々木会長には、ご祝辞をお願いしたいと存じます。

名古屋支部会員の皆様には、日頃から事業運営、並びに、労働災害防止活動に対するご支援、ご協力を頂いておりますことを、この場をお借り致しまして、厚く御礼申し上げます。お陰様をもちまして、当支部の2021年度の事業計画も予定通り推移し、本日の総会開催の運びとなりました。

さて、建設業を取り巻く環境も大きく変わってきています。ですが、求められることは近年変わらず生産性の向上です。一番に取り組まなければならないのが担い手の確保です。建設技能者の三分の一を55歳以上が占めており、ベテランで現場施工が保たれているのが現状です。将来の担い手を確保するためにも、処遇改善や働き方改革に取り組む必要があります。

大日本土木株式会社様のご指導の下、安全協力会と致しましても、社会保険の加入・グリーンサイトの登録・キャリアアップシステムの構築等、事務的処理問題が山積してはいますが徐々に進んできていると思われまます。

この状況下で建設業の労働災害に目を向けますと、死亡者数は年々減少していますが、休業4日以上死傷者数は15,000人前後で推移しており、減少傾向とはいえません。労働災害が減少しないのは、ヒューマンエラーによる、誤認や誤操作等、故意でない人間の動作、行動等に起因するミスやエラーが多いとためと言われています。近年の研究によると、労働災害の防止については、現場所長や職長さんの労働災害防止に対する考え方に大きく左右されるとのことです。

そこで、今年度の事業計画にも、自主安全管理活動の中で「職長会の設置・運営の促進」を明記しました。職長会の活動を活発にし、現場内で混在して働いている各業者の職長の方、そして作業所とのコミュニケーションを取る良い機会だと思われまます。その活動が、



名古屋支部長（本部副会長）

株式会社森屋製作所 代表取締役 森屋 泰則

災害を未然に防いでくれるのでは、と期待しています。

以上のことから、本日お集まりの大日本土木安全協力会各会員におかれましては、優秀な職長さんの育成と人材の確保を最重要課題として、労働災害防止に努めていただきたいと思います。

名古屋支部の昨年度の安全成績は、よくありませんでした。不休災害が大半でしたが、毎月事故が発生している状況でありました。今年度は既に始まっていますが、事故の件数を最小限にとどめるよう努力をしていこうではありませんか。

今一度気を引き締め、会員各位のご協力の基に、大日本土木株式会社の「なくそう災害全員参加の先取り安全」のスローガンに向かって、この大会を期に災害ゼロが達成できますよう心より願っております。

最後になりますが、大日本土木株式会社中日本支社の益々のご発展と、安全協力会名古屋支部会員各社のご繁栄と、本日までご出席の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げまして挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



表彰式



総会状況

大阪支部総会 令和4年6月16日（木） 開催

大阪国際交流センター

山川大阪支部長挨拶

“ご安全に”

令和4年度大日本土木安全協力会大阪支部総会にあたり一言ご挨拶申し上げます。私（わたくし）、安全協力会大阪支部の支部長を仰せつかっております株式会社山川の山川です。よろしくお願いいたします。

令和2年、3年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため書面決議となりましたが3年ぶりに開催の運びとなりました。

本日、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の中、令和4年度大日本土木安全協力会支部総会並びに西日本支社安全衛生大会を開催いたしました。会員皆様方におかれまして、ご遠方、またご多忙中にも関わらず御出席頂き有難うございます。

また、本日はご来賓として大日本土木株式会社 櫻井代表取締役専務執行役員様、安全協力会本部より佐々木会長、岡山本部事務局長のご臨席を賜り、このように盛大に総会を開催できますことに心より厚く御礼申し上げます。

会員の皆様には、日頃から安全活動並びに安全協力会の事業活動に格別のご支援、ご協力を頂きこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。おかげをもちまして安全協力会大阪支部の令和3年度の事業計画が順調に推移し、本日の運びとなりました。御礼とご報告申し上げます。

新年度の冒頭にご挨拶をさせていただきましたが、新型コロナ感染症は、全国的に減少傾向にあるものの、依然として予断を許さない状況です。また、近年気候変動の影響により自然災害が激甚化している中、昨年7月に400mm以上の記録的な大雨により静岡県熱海市で土砂災害が発生し、尊い命が失われました。我々、建設産業は、維持管理、インフラ整備、災害対応などの「地域の守り手」として大きな役割を担っています。

建設業における労働災害の現状をみると、ピークであった昭和36年に比べ約10分の1程度まで減少していますが、災害発生した内容も依然として、墜落・転落災害が大半を占めています。西日本支社の安全衛生方針にあります職場で働く関係者の協力のもと、「先取り安全」を確実にを行い、不安全行動と不安全状態を無くし、労働安全衛生法令、社内ルールを守り作業所において「ヒヤリハット」を見逃さず、各自がその場で是正し、店社及び安全協力会による安全衛生活動の充実を図らなければならないと思います。

西日本支社の昨年の災害発生状況は、当社カウントで不慮災害が1件、3日以内の災害が2件で、事故の型別では、切れ・こすれと挟まれ・巻き込まれ災害によるもので、近年にない災害発生状況でした。

災害防止の主役は、事業主皆さんと働くみなさんです。

また、令和3年度において労働災害防止活動の功績が認められ栄えある表彰を受けられます方々に心からお祝いを申し上げますとともに、今後一層の指導的な役割をお願い申し上げます。



大阪支部長（本部副会長）
株式会社山川 代表取締役社長 山川 数也

最後になりましたが、会員の皆様におかれましては、より一層の安全衛生活動を充実させて災害のない職場にして頂き、各社の益々のご繁栄をご祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

“ご安全に”



表彰式



総会状況

2022年度 支部総会並びに安全衛生大会 結果報告

支 部 名		東 京 (海外)	名古屋	大 阪
月 日		6月17日 (金)	6月10日 (金)	6月16日 (木)
場 所		全電通労働会館	じゅうろくプラザ	大阪国際交流センター
出席者	来賓	1 名	0 名	1 名
	協力会社	236 名	296 名	289 名
	会社	148 名	37 名	83 名
	合計	385 名	333 名	373 名
安全表彰	安全協会職長表彰			
	(本部長表彰)	4 名	4 名	4 名
	(支部長表彰)	12 名	11 名	10 名
	安全協会会社表彰			
	(社長表彰)	4 社	4 社	4 社
	(支社長・支店長表彰)	12 社	11 社	10 社
	来 賓	新宿労働基準監督署 副署長 森 健一郎 様	—	大阪中央労働基準監督署 産業安全専門官 坂本 圭 様
	特別講演	眠りとお風呂の専門家 小林 麻利子 様	臨済宗妙心寺派泰丘寺 副住職 泰丘 良玄 様	元水泳オリンピック選手 千葉 すず 様

本部だより

1. 安全衛生環境パトロール

全国労働衛生週間に名古屋支部作業所のパトロールを実施しました。

- 1) 実施日：令和4年8月3日（水）
- 2) 巡視作業所：中日本支社（土木） JS 垂井処理場作業所
- 3) 発注者：日本下水道事業団
- 4) 工事概要：垂井町浄化センター水処理施設の増設工事
- 5) 巡視者：櫻井名誉会長（代表取締役専務執行役員）、森屋副会長（名古屋支部長）
岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）、山口名古屋支部事務局長（中日本支社環境安全品質部次長）



昼礼時安全講和



パトロール実施状況

<土木> JS 垂井処理場作業所

- 1) 実施日：令和4年8月3日（水）
- 2) 巡視作業所：中日本支社（建築）
PFI 平針住宅作業所
- 3) 発注者：愛知県
- 4) 工事概要：PFI 方式による県営住宅建替工事
- 5) 巡視者：
櫻井名誉会長（代表取締役専務執行役員）
森屋副会長（名古屋支部長）
岡山本部事務局長（本社環境安全品質部長）
山口名古屋支部事務局長
（中日本支社環境安全品質部次長）



<建築> PFI 平針住宅作業所（工事状況）

2. 下期活動予定

- ① 安全協力会本部パトロール 東京支部作業所（土木・建築）各1箇所 R4年10月～11月
大阪支部作業所（土木・建築）各1箇所 R5年2月～3月
- ② 全国建設業労働災害防止大会 R4年10月
- ③ 会社・協力会の合同安全祈願 R4年11月
- ④ 支部長会議 R4年10月、12月、R5年3月

支部だより

東京支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、令和4年6月29日に、第1回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。藤澤支部長をはじめ東京支部役員で、建築土木各2作業所、計4作業所に対しパトロールを実施しました。パトロール実施後は、支社において、支社長、副支社長、工事部長にご参加頂き、パトロール結果と安全協力会からの要望事項等を報告し、今後の安全管理に生かして頂くようお願い致しました。



<建築>東高京浜K作業所 (整列)



<建築>王子江戸川倉庫作業所 (安全訓示)



<土木>綾瀬造成作業所 (現場巡視)



<土木>浴恩園遺跡2作業所 (資格の確認)

2. 下期事業予定

- | | |
|----------------|--|
| (1) 支部理事会 | R4年10月、12月、R5年3月 開催予定 |
| (2) パトロール | R4年11月、R5年2月 実施予定 |
| (3) 安全祈願・賀詞交換会 | R5年1月 開催予定 |
| (4) その他の事業 | 安全教育用DVD貸し出し業務
職長会運営助成事業 (助成金、職長ヘルメットの提供) 等 |

名古屋支部

1. 安全衛生環境パトロール

令和4年7月21日（木）に、建築・土木各々1現場ずつパトロールを実施しました。現場巡視には、田中名誉支部長（常務執行役員・中日本支社長）も参加され、熱中症やコロナ感染症などの対策や職長会を含む協力会社の安全活動などについて、その実施状況の確認を行い、今後も活発な安全活動に期待することを従事者全員に伝えました。



パトロール参加者一同



現場巡視

<建築>岐健管美濃加茂作業所



パトロール参加者一同



現場巡視

<土木>恵那西造成作業所

2. 下期事業予定

- (1) 支部理事会 R4年10月、R5年3月開催予定
- (2) パトロール R4年12月 土木・建築各1現場実施予定
- (3) 安全祈願 R4年10月17日 伊奈波神社
R5年1月14日 猿田彦神社
- (4) その他の事業 安全教育用DVD貸出業務
安全啓蒙業務（感染症対策、安全設備その他）
職長会運営助成業務（職長会運営の促進と指導）等

3. 安全啓発活動

今年度は早くから猛暑日が記録されるなど例年になく高温多湿な気候となり、名古屋支部内においても熱中症の発生が多くみられました。よって、安全協力会から熱中症対策として ①塩ビタミンゼリーを全現場に配布 ②休憩用のテントを試験的に一部の現場に配布、設置を致しました。塩ビタミンゼリーは冷やすと非常に補給しやすいと好評でした。また、テントは冷風扇風機などと組み合わせると効果的などという評価もいただきました。



①塩ビタミンゼリーの配布



②休憩用テントの設置

大阪支部

1. 安全衛生環境パトロール

労働災害の撲滅を目指し、毎月の支社安全衛生環境パトロールに参画して、安全指導を行っています。また、令和4年7月15日に、第1回合同安全衛生環境パトロールを実施しました。山川支部長をはじめ大阪支部役員全員参加で2班編成し、建築土木各1作業所、計2作業所に対し実施し、安全指導・要望事項を今後の安全管理に生かしていただくようお願い致しました。



<建築>明日香村新庁舎作業所



<土木>安威川道路整備作業所

2. 下期行事予定

- | | |
|------------|--|
| (1) 支部理事会 | R4年11月2日、12月9日、R5年3月10日 開催予定 |
| (2) パトロール | R4年10月20日 住之江物流、地整西脇北PC |
| (3) 安全祈願 | R5年1月19日 大神神社 |
| (4) その他の事業 | 熱中症防止対策事業、安全教育用DVD貸出、
職長会運営助成事業（助成金、職長ヘルメットの提供）
行政も推奨している安全啓発活動のピンクリボンを全作業所へ提供 |



ピンクリボン設置状況



建設現場の災害をなくしましょう！

建設業における労働災害は、みなさまの積極的かつ地道な努力により長年にわたり着実に減少してきました。しかしながら、建設業における死亡災害は全産業の中で30%を超え、死傷災害は11%弱と依然として高い比率を占めています。建設現場においては、労働者の労働災害だけでなく、一人親方等の業務上の災害も非常に多く発生しています。厚生労働省では2014年から一人親方等の死亡災害の発生件数を把握して公表しています。一人親方等については、2017年から2021年の5年間で482人の方が亡くなっています。みなさま一人一人の努力で建設現場の災害をなくしましょう！

*このパンフレットの「一人親方等」は、一人親方（労働者を使用しないで事業を行う者）に加えて中小事業主、役員、家族従事者も含まれます。

建設業の死亡災害発生状況 (人)



※労働者数に一人親方等の数は含まれません

きょうもあしたも気をつけて
健康と安全が一番だね！！

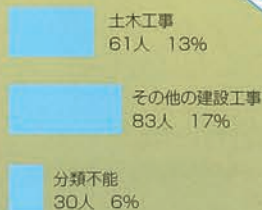


2017～2021年の5年間で482人の一人親方等が亡くなっています

一人親方死亡災害の半数以上は建築工事で発生

建築工事

308人 64%



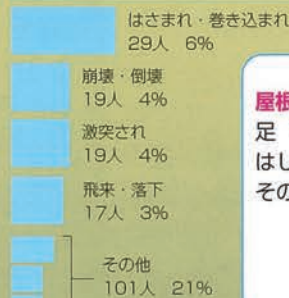
建築工事の内訳は…

木造家屋建築工事 120人
鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事 61人
その他の建築工事 127人

墜落・転落災害が6割

墜落・転落

297人 62%



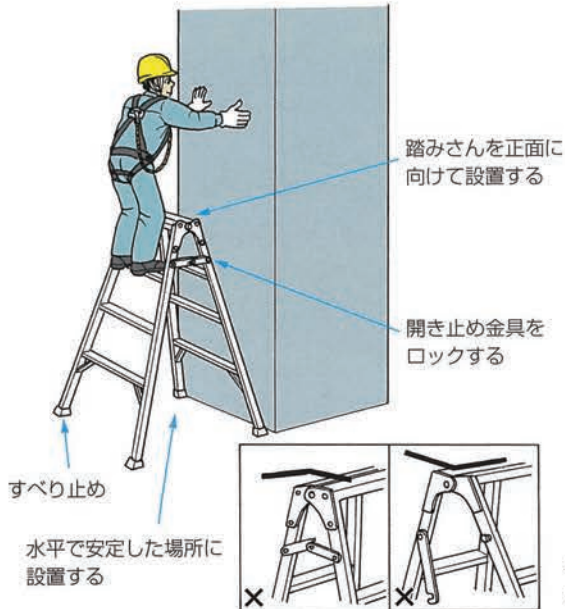
発生した場所は…

屋根、はり、もや、けた、合掌 99人
足場 64人
はしご等 50人
その他 84人



墜落・転落災害防止のポイント～作業上の注意事項～

1 脚立を使用しての作業



- ① 作業箇所に対し、踏みさんを正面に向けて設置する
- ② 水平で安定した場所に設置する
- ③ 開き止め金具をロックする
- ④ 脚部にすべり止めの付いたものを使用する
- ⑤ 立った姿勢で、踏みさんや天板に体（脚部）を当てて安定させる
- ⑥ 天板上に立たない、天板をまたがない
- ⑦ 押したり引いたり、反動のある作業を避ける
- ⑧ 重心が脚立や両足などの外に出ないようにする
- ⑨ 手すり付きのものが望ましい

不完全な状態で使用すると、脚立が動いたり、脚部が開閉するなどして危険

2 はしごの昇降



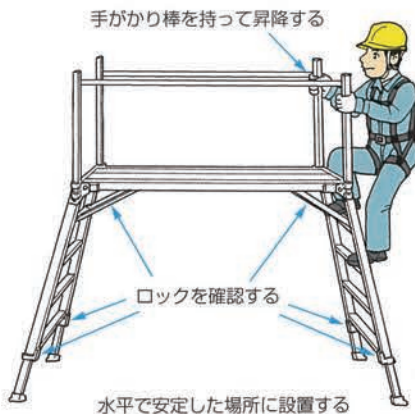
【移動はしご】

- ① はしごの上端を、上端床から60cm以上突出する
- ② はしごの立て掛け角度は、75度程度とする
- ③ 両手と両足の4点のうち3点が、はしごと接した状態を維持しながら昇降する
- ④ 転位を防止する措置をとる（すべり止め措置の取付、下の者が支える等）
- ⑤ 立て掛ける前に安全ブロックを設置する
- ⑥ 昇降中は、安全ブロックのフックを安全帯のD環に連結する
- ⑦ 台付ロープは、はしご上端部の支柱に取り付ける

【固定はしご】

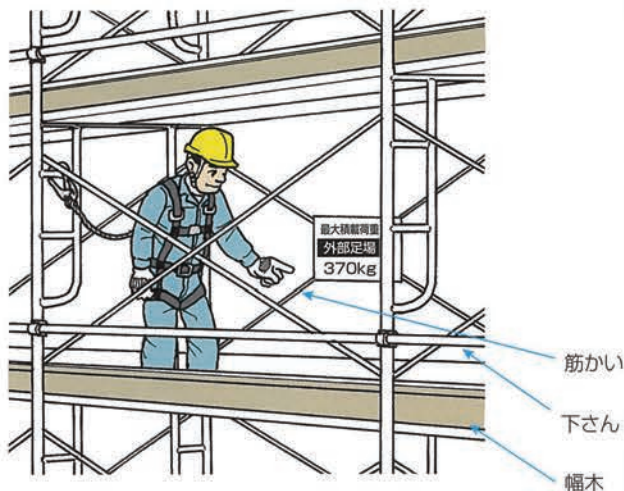
- ① はしごの上部及び下部を動かさないよう固定する
 - ② はしごの上端を、上端床から60cm以上突出する
 - ③ 安全ブロックを昇降に支障のない場所に固定する（脚柱2本に巻き付け踏み棧に取り付けない）
 - ④ 昇降中は安全ブロックのフックを安全帯のD環に連結する
 - ⑤ 床面に乗り移る際は、安全帯のフックを先掛けする
- ※はしごは原則として昇降のみに使用し、作業に使用しない

3 可搬式作業台を使用しての作業



- ① 作業台に向かって両手で脚柱・手がかり棒を持って昇降する（両手でしっかり脚柱等をつかむ）
- ② 水平で安定した場所に設置する
- ③ 脚部が確実にロックされたか確認する
- ④ 押したり引いたり、反動のある作業を避ける
- ⑤ 重心が作業台や両足などの外に出ないようにする
- ⑥ 手がかり棒を立て起こして使用する
- ⑦ 手すり付きのものが望ましい

4 足場上での作業



- ① 足場の部材などを一時的に取り外す場合には、必ず職長等責任者の了承を得てから行う
- ② 必要な作業が終わったら取り外した部材（手すり、中さん、筋かい、下さん、幅木、防網等）を元どおり取り付け
- ③ 作業開始前に足場の状態を点検する（部材の損傷、壁つなぎなど緊結金具の状態、足場端部のストッパー、垂直ネットの取付け状態等）
- ④ いわゆる「単管抱き足場」は足場とは認められないので、ブラケット足場を設置し、手すり等に安全帯を使用して作業する。

5 安全帯（墜落制止用器具の使用）

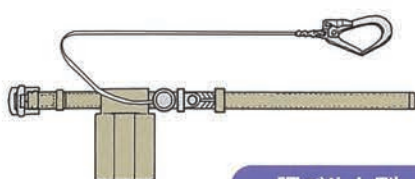


フルハーネス型

（注）このパンフレットの「安全帯」は改正安全衛生法令の「墜落制止用器具」である

「フルハーネス型安全帯」と「胴ベルト型安全帯」があります。建設現場の作業内容や作業箇所の高さに応じて使用します。

- ① 取扱説明書を確認し、安全上必要な部品が揃っているか確認し、緩みなく確実に装着する。
- ② 安全帯の取付設備は、ランヤードが外れたり、抜けたりするおそれのないもので、墜落制止時の衝撃力に耐えうるものとする。
- ③ 点検・保守や保管は、責任者を定める等により確実にを行い、管理台帳等にそれらの結果や管理上必要な事項を記録しておく。



胴ベルト型

【注意】 フルハーネス型安全帯は、製品ラベルに「墜落制止用器具」または「墜落制止用器具の規格」の表示があるものを使用する。「安全帯の規格」と表示のあるものは旧規格のため使用できません。